

ピアノの音色に魅せられて

8

調律技術者インタビュー

サポート体制は万全 地域に根ざし、安心を届ける

大東楽器株式会社

中村信彦さん



中村信彦さん

大阪府寝屋川市出身。1989年国立音楽大学別科調律専修卒業。同年(株)ヤマハミュージックストア大東に入社。1995年に大東楽器株式会社と合併し、現在は、同社ピアノ技術課課長を務める。2008(平成20)年、ヤマハピアノテクニカルアカデミーのコンサートコースを修了。



大日駅から徒歩5分の商業施設「ベアーズ」の2階、2023年1月にサロンに導入されたヤマハCFX。

2023年、バージョンアップした大東楽器ヤマハピアノストア。大阪府大東市に創業以来60年、大東市、寝屋川市、門真市、枚方市といった東部大阪地域に4つの店舗と23のヤマハ音楽教室を展開し、積極的な音楽普及に努める大東楽器。地下鉄谷町線と大阪モノレールの大日駅近くにある大東楽器ヤマハピアノストアは、東部大阪で最大のグランドピアノサロンで、ピアノ技術課もこちらが拠点です。地域に根ざした楽器店として、店舗、教室、地域のピアノ講師や愛好家の皆さんのピアノの調整に調律技術者が当たっています。

「大東楽器では、合わせて11名の調律技術者で稼働している体制です」とピアノ技術課課長の中村信彦さん。

「夕方には社員は出社し、2023年入社の人から20代、30代、40代、50代、最年長の部長まで、いつも顔を合わせて

います。調律を学んだ学校もさまざま、それぞれの知識や経験を共有する機会も多く、互いに調律を見せ合ったり、問題が起これば迅速にフォローしたり、サポート体制を整えています。地域の皆さんの「大東楽器なら安心」という信頼に、スタッフとともに応えていきたいと思っています」

こちらの店舗は実に広々とした店構え。アップライトピアノや楽譜、小物などが並ぶ店舗スペースに、座席数最大130という天井が高く響きのよいサロン、新たにグランドピアノ試弾室も完成。サロンにはヤマハCFXが納入されています。「サロンはピアノフェスティバルの二次予選、二次予選など弊社主催のイベントのほか、貸し出しもしており、先生方の発表会や練習でも使われています。何より、私たちスタッフがいつでもCFXに触れられるというのはうれしいことです」

良い環境の試弾室で 調律技術の真価を体感

中村さんは幼い頃からピアノを習い親しんだことから、手に職をつける仕事でもある調律師を目指し、高校卒業後、国立音楽大学別科調律専修に進学。

「毎週土曜日に専修で音楽学部のピアノの調整を一气に行うなど、実技はもちろん、演奏や設計製図、楽器学、音響学、英会話まで幅広く学びました」

卒業後はヤマハミュージック大東に技術者として就職。のちに大東楽器が合併、現在に至ります。入社後はヤマハピアノテクニカルアカデミーで研修を積み、コ

ンサートコースを修了。現在、大東楽器では中村さんを含む3名がコンサートチューナーとして、東部大阪にあるコンサートホールで、ハウスピアノの保守点検やコンサート調律を行っています。

「私は保守点検の仕事が好きで、1日かけて点検して、思ったとおりによくなら、達成感がありますね。ホールの環境も違えば、1台1台の年数によっても音は違ってきます。2019年にオープンした東大阪市文化創造館にはCFXが導入されました。いいですよ。とくに小ホールでの響きがすばらしく、隅々まで音が飛んでいくのが見えるようで気持ちいいんです」

新しくできた試弾室では、大東楽器の調律技術者が1台のピアノを担当し、そのピアノの個性を引き出す細かな調整をしたものを、大東楽器プレミアム仕様として並べています。工場出荷のままのピアノと弾き比べて、音程を整えるだけが調律ではない、という調律の意味を体感してもらおう試みでもあります。ピアノは弾く人はもちろん、調律師もともに歩んでいく楽器。そんな思いが伝わってきます。



試弾室で。中村さんと山口信一店長。

グランドピアノ試弾室がオープン!

地域最大のグランドピアノサロンとして、さらにバージョンアップした大東楽器ヤマハピアノストア。試弾室が2023年9月に新しくできました。C1Xのホワイトが存在感も抜群。C3X、人気のC3X espressoやSXシリーズが並びます。右奥には防音室も。試弾フェアも随時開催されています。



こちらも高い天井です。試弾室全景。



試弾室に展示された2台のC3X。左は出荷のまま、右が中村さん調整による「大東楽器プレミアム仕様」。弾き比べると響きの違いがよくわかります。

「それこそ、いいホールでピアノリストが弾きこなしているピアノが理想なのかもしれないですが、私は、弾いている人にとって楽しく弾けて、いい音だと感じて好きになれるピアノが理想のピアノなのではないかと思っています。それを目指して調整をしているので、お客様に『うちのピアノが一番弾きやすい、このピアノをずっと弾いていたい』と言ってもらえるのは、うれしいことです」